

光り、輝いて 75年 化粧品・医薬品業界に特化した印刷会社 大光印刷 株式会社



医薬品の説明書(効能書き)やパッケージ・ラベルなどの包装資材、また化粧品関係の箱やラベル・ポップ・什器等、各種販促ツールを手掛けている大光印刷(株)。同社の印刷技術と高度な品質管理体制は医薬品業界の高度な要求に対応し、多くの化粧品・製薬会社から評価されています。

今回は代表取締役社長の中村一紀氏にお話を伺いました。



— 医薬品添付文書の 印刷トップシェア

当社の創業は、1947年(昭和22年)で、主に百貨店などの折込チラシなど商業印刷の仕事を行ってまいりました。ところが、1990年頃バブルの崩壊により商業印刷の市場規模が小さくなり、事業の転換を検討しなくてはならなくなりました。それで導き出したのが、医薬業界向けの包装資材(添付文書、紙器、ラベル)の製造でした。転換する過程には、いろいろと苦労がありましたが、2000年に入った頃には、当社のメイン事業にまで成長させることができました。特に医薬品の中に入れる添付文書では、日本で最初期にロール印刷機での印刷を始めました。非常に薄い紙へ印刷ができ、医薬品の小さい箱に同封できるため大変好評をいただき、日本中のほぼすべての製薬会社に添付文書を納品するまでになりました。さらに2010年ごろからは化粧品業界に向けた包装資材の製造を始め、両業界にむけて高品質な製品を提供しております。

— 品質への徹底したこだわり

医薬品の添付文書やラベル、パッケージの印刷は、あらゆる印刷物の中で、品質管理レベルが最も高いと言われています。なぜならば、技術的側面、工程的側面に加え、環境的側面など幅広い安全性の確保が求められるからです。異物(ゴミや虫、毛髪等)混入など致命的の製品不良は、決して許されません。

その高い要求に応えるためには、印刷技術だけではなく、より高水準の品質管理体制が欠かせません。

当社は印刷会社でありながら、製薬会社に準じる防虫・防塵規定を設け、異物混入を防いでおります。その他にも、工場内の湿度や気温など環境維持はもちろん、同時に先端のシステム・機器を用いた品質管理も行っています。印刷技術面においては、インクの生乾きによる印刷汚れを避けるため、パッケージ印刷を全てUV印刷機で行っています。UV印刷機の導入により、耐磨耗性・耐光性を飛躍的に高め、パッケージの美しさを長期間保つことが可能になりました。

しかし、技術がどれほど進歩しても印刷機のコンディション、用紙、原反のロットにブレがあります。それらをカバーしているのが機械オペレーターの職人技です。きめ細かい印刷機の調整・メンテナンスやインキ調整などの



亀岡工場
(京都府亀岡市)

大光印刷 株式会社

代表取締役社長：中村一紀氏
本社：京都市中京区西ノ京冷泉町22番
創業：1947年(昭和22年)
従業員数：160名
事業内容：化粧品・医薬品関係のパッケージ



最盛期には4,000種類、月間約5,000万枚
の医療用医薬品の添付文書を製造



第2回 B級提案グランプリの社内向け募集案内

技術は当社の財産です。このように当社では、「デジタル技術を駆使した印刷技術」+「長年の経験で積み重ねた職人技」でシビアな色合わせを可能にし、高い印刷クオリティを実現、化粧品業界、医薬業界のユーザー様に高い評価と厚い信頼をいただいています。



パッケージ専用工場にて配色の調整を行っている

— 従業員間の意見交換

から生まれた新商品

仕事は、多くの人や部門が連携しあって円滑に進めていくことが重要であり、それには社内コミュニケーションの活性化が必要不可欠だと思っています。なぜならば、従業員間の連携強化は生産性の向上、ひいては顧客満足度の向上や売上げの増加にもつながるからです。そのため、当社では部会制度を設け、従業員同士の意見交換を促しています。そこで取り上げ

るテーマは、仕事に直結する具体的なものから業務に直接関係ないものまで、幅広いものを認めています。

事業規模としてはまだ小さいのですが当社は、釣具用品向け商品のパッケージを扱っています。そのきっかけは、釣り好きな社員が集まって構成された部会「釣具部会」からの発案でした。近年の釣りブームにより、1個あたり1万円を超える高級ルアーも人気があり、そのルアーのパッケージには高級感が求められます。そこに、当社の培った技術を活かせるのではないかと意見が出たのです。釣具部会の他にも変わった部会に「アニメ部会」というものがあります。アニメ好きな従業員が集まり、アニメ商品に使われているグッズについて調査を行い、可能性を探ってくれています。このような意見が出ることは、企業を強くすることにつながると思っていますので大切にしていきたいです。

— B級提案グランプリの成功

社員に考える習慣を身に付けてほしいという思いから、改善提案制度の仕組みは設けておりましたが、なかなか提案が出ず、提案を促す方法を思案していました。そんな折、他社で『B級提案グランプリ』という活動をされ効果を発揮されていると知り、当社でも開催してみました。どんな些細な提案

B級提案グランプリ

「B級グルメ」からもじって名付けた改善提案制度。日常業務におけるどんな小さなことでも改善について意識をむけるきっかけ作りを目的とし、将来的には小さな改善を積み重ねが、大きな力につながることを実感してもらうことを期待している。

第1回では100件を超える提案が上がり提案者からは、「視野が広がった」、「作業に対する意識・探究心が高まった」などの声が上がっている。好評のため第2回グランプリを募集中。

でも対象とし、1件につき500円の賞金を設定、グランプリ賞にはB級グルメを進呈するとして社員に周知したところ、100件を超える提案がありました。多くの提案を出してもらうことができ、大変手応えを感じています。社員に積極的に考えてもらうため今後もこのキャンペーンを行っていきたいと考えております。

— 今後のビジョン

これからもお客様からの信頼に答えることができるように日々精進していきたいと思っております。当社が取り扱う医薬品・化粧品関連の商品は、高い品質が常に求められます。その期待に応え続けるため、現場の清掃や品質向上にさらに磨きをかけ、継続的に供給出来るよう努めていきます。

新しい取り組みとしては、化粧品事業分野において、今は二次包装までしか行えていませんが、将来的には、充填まで行えるようになりたいと考えています。これまで培ってきた衛生管理、品質管理を活かし、印刷会社の枠を超えた新しい事業に進出してまいります。

— 貴重なお話をいただき、誠にありがとうございました。